

自由民権運動の先駆者

山本 庄司

やまもと しょうじ

出身地 能代市（旧二ツ井町）

1857年（安政4年）～1924年（大正13年）

東京に遊学し、自由民権思想に啓発される。帰郷して国会開設の必要を説き、北羽連合会を組織。秋田自由民権運動の父と呼ばれる。県内初の政党・秋田改進黨の設立に参画した。



年譜

- 1857年 能代市（旧二ツ井町）に生まれる。
- 1873年 秋田市の白土塾に学ぶ。
- 1879年 上京。二松学舎入学。学外の新聞縦覧所、書籍館、演説会場に出入りし、自由民権思想を吸収。
- 1880年 遐迹新聞に「国会開設建議有志団結案」を発表。北羽連合を結成。後に、有舌会と改称。
- 1882年 秋田改進黨を設立。県会議員。
- 1884年 飛根村会議員。
- 1893年 富根村長。
- 1924年 能代市（旧二ツ井町）で没。66歳。